

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日:2023年1月4日

事業所名:児童発達支援事業所P-S

サービス種類:(児童発達支援)

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指導訓練室は3室あります。部屋によって面積の違いがあるので、小集団では大きい部屋を利用するなど、人数に応じた広さの部屋を使っています。	はい:24名、どちらともいえない:4名、いいえ:0名、わからない:0名 体を使った遊び等にはやや狭いかなと思います。 個別、小集団での活動なので十分だと思います。 子どもが一人なら十分だと思いますが、もし3人位のグループで活動するのならば少し狭いかもしれません。 他所と比較ができないためわかりません。	今後も利用定員に応じたスペースの確保に努めます。また、利用状況に合わせて使用する部屋を検討していきます。
	2	職員の適切な配置	定員10名に対して直接処遇の職員は、加配で配置している職員を含め4名となっています。そのうえで一人一人の特性に合わせて1対1の対応を行うなどしています。	はい:24名、どちらともいえない:2名、いいえ:0名、わからない:2名 通所することで苦手が緩和されています。	今後も現在の職員配置を維持できるように努めています。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・階段の上り下りが難しいお子様には1階の和室を利用していただいています。 ・玄関の段差が大きいため、高低差を小さくするために足置き台を設置しております。また、靴を置く場所が明確となるように目印をつけるなど、視覚的な手がかりを活用しています。 ・階段にはすべり止めマットを敷き、転倒防止に努めています。また手すりも設置しています。 ・子どもたちが活動する部屋の中にはフローリングの部屋がありますが、そこにはマットを敷いています。	はい:22名、どちらともいえない:1名、いいえ:0名、わからない:5名 シンプルな環境で集中できると思います。 各部屋にイラストが貼り付けられていたり、階段に手すりがあるなど配慮を感じる。	今後も必要に応じて設備の追加等を検討していきます。また、階段の上り下りなど、危険が伴う箇所については職員が付き添うなどして安全に配慮していきたいと思います。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・玩具は定期的に洗濯や洗浄、消毒をおこなっています。また、使用した玩具を口にいれるなど汚れた場合は終了後に洗浄、消毒をおこなってから使用しています。 ・各部屋は、毎日サービス提供終了後に清掃、消毒をしています。 ・各部屋に収納があるので活動に必要ないものは、そこに片付けています。	はい:27名、どちらともいえない:0名、いいえ:0名、わからない:1名 整理整頓されていて子どもの活動にあった空間だと思います。 いつも清潔で部屋には余計なものがなく怪我の心配もない。	今後も引き続いて事業所内等の環境整備に努めていきたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・全職員で毎朝の朝礼時間と週1回の職員会議で気がついたことを話し合うようにしています。 ・業務担当を年度ごとにローテーションすることで、多くの職員の視点が入るようにしています。 ・360° 評価を取り入れた人事評価制度を年に2回実施しています。 ・職員への定期的な面談を実施しています。		今後も定期的な話し合いの機会を設定し、情報共有や意見交換を行い、必要に応じて業務改善を検討していきたいと思います。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価等の外部評価は実施していませんが、契約している社労士、税理士から指導、助言をいただき運営しています。		現在の対応を継続しつつ、他の外部評価活用についても検討していきたいと思います。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・外部研修に参加しやすいよう、受講料や交通費といった研修費の支給体制を整備しています。 ・支援内容の事例検討や参加した研修内容をまとめて発表するなどの内部研修の機会を設けています。 ・非常災害時の対応、事故等の緊急時対応、感染症対策、虐待防止等について内部研修を実施しています。		より良い発達支援が提供できるように、今後も職員の資質向上のための取り組みを継続して実施していきたいと思います。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・ニーズを聞き取ったうえで極力全職員で話し合いの機会を設け、計画の作成に努めています。	はい:28名、どちらともいえない:0名、いいえ:0名、わからない:0名 してほしいこと、できるようになってほしいことなどを伝え、すぐに実践していただきありがたいです。	今後も十分にニーズを聞き取り、多くの職員の視点を取り入れて課題等を分析した計画の作成をしていきたいと思います。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・ニーズを聞き取りつつ、子どもの一人一人の状況に応じて個別支援や集団支援を行っています。また、それらを反映させた個別支援計画の作成に努めています。	毎回こちらの要望に合わせて課題や関わり方を工夫してくださり大変ありがたいです。保護者のニーズ、職員の方々の専門的な視点から計画が作成されていて納得して通所できている。	今後も子ども一人一人の状況に応じた活動を検討し、計画を作成していきたいと思います。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・計画作成時は、聞き取った情報をもとに最終的な目標を検討し、そこから計画の期間や現在の状況に応じて達成可能な目標に細分化し、段階的に目標がステップアップしていけるような計画を検討しています。そのうえで、それらの目標を達成するための活動設定や支援方法などを具体的に記載するようにしています。	通所開始当初できなかったことができるようになって、また新たな取り組みが盛り込まれて着実に進歩しているのが実感できます。家庭での様子などから必要な支援計画を立ててくださり、子どもも楽しみながら参加しています。子どもの個性に合わせて課題に取り組んでいると感じる。	今後も目標を達成するための具体的な活動の設定や支援方法等を記載した計画の作成に努めていきたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	作成した計画に沿って活動を設定し、支援を行っています。 計画した目標が達成できるように段階的に活動を設定しています。	はい:28名、どちらともいえない:0名、いいえ:0名、わからない:0名 されていると思います。少しずつできること、わかることが増えています。 計画に沿った支援をおこなっていただいているので計画が達成できている。	今後も計画に基づいて活動内容を検討し、実施していきたいと思います。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で活動内容や支援方法について意見を出し合い、活動プログラムを決定しています。必ず支援開始前に話し合い、子どもたちの様子に合わせて活動内容を随時調整しています。	はい:26名、どちらともいえない:0名、いいえ:0名、わからない:1名、未回答:1名 いつも工夫されていると思います。 1つの課題に対して様々な方法でプログラムを作成してくださっている。	今後も職員間での話し合いを行い、活動内容を検討していきたいと思います。子どもたちにとって楽しみつつ、学びを積み重ねていけるようなプログラムの検討に努めていきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用定員に応じた予約状況によりますが、利用日の振り替え等の希望があった場合は、極力対応できるように努めています。また、体調不良等で休みとなった場合には、希望者に対しては空きがある日を伝えるなどしています。		可能な限りご希望等には対応していきたいと思います。どうしても難しい場合にも代替案を検討するなどしていきたいと思います。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・活動内容によっては継続して実施することで発達が促進されるものもあるため、意図的に固定化した活動もあります。ただし、固定化した活動の中でも支援方法を一部変更するなど、子どもの状況に応じて対応しています。 ・目標が十分に達成された活動は、内容を職員間で話し合い変更しています。		職員間で意見を出し合い、子どもの成長につながるような活動内容を検討し、実施していきたいと思います。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に職員間で支援内容や役割について話し合いを行っています。その際には、記録を確認して前回利用時の様子等を把握したうえで話し合いを行っています。		現在実施している前回の様子を踏まえた話し合いを今後も継続して実施していきたいと思います。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に簡単な振り返りの機会を設けています。業務のスケジュールの関係から、その日のうちに振り返りが難しい場合には後日実施しています。気が付いた点や次回に向けて検討が必要と思われる点は職員共有のメモに残しておき、振り返り等の話し合いの機会です必ず意見を出し合うようにしています。		今後も共有のメモを活用したり、振り返りの機会を設定し(当日中に難しい場合には後日実施します)、情報の共有に努めていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援内容や活動時の子どもの様子を記録にまとめています。まとめた記録は、次に利用するときに保護者に確認してもらっています。その記録を見ながら、支援前などに話し合いを行い、活動内容や支援方法などを検討しています。		支援内容や子どもの様子が具体的にわかるような記録を残していきたいと思います。その記録をもと目標の進捗状況を把握し、次の活動プログラムや支援方法などを検討していきたいと思います。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	少なくとも6か月に1回はモニタリングを行い計画の見直しを行っています。計画を見直す際には極力、全職員で話し合いの機会を設けるようにしています。		引き続き定期的なモニタリングを実施し、一人一人の成長に合わせた計画の見直しをおこなっていききたいと思います。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	子どもの状況を最も把握している職員が参加したり、聞き取りに対して対応したりしています。どうしても参加が難しい場合には、事前に検討課題などを聞き取ったうえで、書面にて情報提供を行う場合もあります。		会議に可能な限り参加していきます。どうしても難しい場合には、事前に検討事項を聞き取ったうえで書面等の別の手段での情報提供をおこなっていききたいと思います。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在の所、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の利用はありません。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在の所、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の利用はありません。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	毎年契約しているすべての利用者に引継ぎのための情報提供書の作成をおこなえることを案内しています。それにより、希望されたすべての方に情報提供書の作成をおこなっています。その他、依頼があった際には情報共有のための会議等に参加したり、園などからの見学にも対応しています。		情報提供書については、年度の終わりごろにすべての利用者に周知し、希望者全員について作成していますので、今後も継続していきたいと思います。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	放課後等デイサービスは実施していません。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
175	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現在、センターとの連携は特にありません。専門機関での研修については、案内があった場合には全職員で回覧をしています。また、研修にかかる受講費や交通費などの支給体制を整備しています。		必要に応じて連携をしていきたいと思います。研修については、案内があったものを事業所内で回覧し情報を共有するとともに、研修の受講費や交通費を支給する体制を継続します。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	事業所として交流の機会は提供できていませんが、契約している30名のお子さんのうち28名が保育所等に通園しており、その中でP-Sを週に1～2回の利用をされています。保育所等と並行して利用しているお子さんは、通園前または通園後などに利用している方が多いです。	はい:5名、どちらともいえない:1名、いいえ:6名、わからない:15名、未回答:1名 今の活動で十分だと思うので、特になくても良いと思います。 機会はないがこのままで満足している。	利用している多くの子どもたちが保育所、認定こども園、幼稚園に在籍し、並行して利用しているため、現在のところ交流の機会を設定する予定はありません。ただし、多くの要望がある場合にはその機会を検討していきたいと思います。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民の招待などは実施していません。また、地域の行事等への参加もしていません。しかし、依頼があれば他事業所や園等からの見学は受け入れています。		個人情報保護の観点から事業所を利用する児童や保護者以外の関係のない方の受け入れはご遠慮いただきます。利用している児童が在籍している園から見学の希望があった場合や相談支援事業所のモニタリングなど、サービス提供に関連した方の受け入れは今後も継続します。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援の内容は、毎回迎えの際にその日の振り返りの機会を設けて説明を行うようにしています。利用者負担については、契約時に書面を提示しながら説明を行っています。利用者負担に変更があった場合は、その都度変更内容をまとめた書面を配布して説明を行っています。月々の利用料は、請求時に明細書を提示して説明を行っています。	はい:28名、どちらともいえない:0名、いいえ:0名、わからない:0名 口頭、紙面での説明がありました。 丁寧に説明していただきました。 入所当初にあり、負担が変更になった際もその都度知らせてくださる。	今後もわかりやすく丁寧な説明に努めていきたいと思います。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画作成後に書面を提示しながら説明を行っています。日々の利用の中で迎えの際の振り返りの機会では計画を示しながら支援内容を説明することは実施していませんが、モニタリング実施時に計画を反映させた資料を示しながら振り返りを行うようにしています。	はい:28名、どちらともいえない:0名、いいえ:0名、わからない:0名 口頭、紙面での説明がありました。 丁寧に説明していただきました。 丁寧な説明がある。	今後もわかりやすく丁寧な説明に努めていきたいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは実施していませんが、サービス提供後の振り返りの機会を活用して家庭や園での対応やかかわり方などを話す機会を設けています。また、必要に応じて家庭等での困りごとに近い場面を設定し、保護者と一緒に対応する機会を設けるなどしています。	はい:16名、どちらともいえない:5名、いいえ:1名、わからない:6名 いつも適切な助言をいただけてうれしいです。 先生方と共有でき、家庭でできることをアドバイスいただき実践している。	ペアレントトレーニングといった新たな場を設けることは、現在のところ予定していません。サービス提供時に同席いただいたり、サービス提供終了後に振り返りの機会を設けているため、そこで家庭等の日常場面での対応方法等について個別的に対応していきたいと思います。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回振り返りの機会を設けているため、その際に目標の進捗状況、今後の展開の予定などを分かりやすく説明するように努めています。	はい:27名、どちらともいえない:1名、いいえ:0名、わからない:0名 活動終了後に報告、連絡の時間をつくっているため相談しやすい。 毎回の活動内容と方法と結果が詳しく報告書にまとめられていて、それを控えとしていただけるので発達の変化がよく理解できます。 最後に先生と話す時間を設けてくださっているため、状況がすぐに聞けて安心します。 フィードバックの時間にできている。	毎回実施しているサービス提供終了後の振り返りを今後も継続していきます。その際には、現在の課題の内容、課題の進捗状況、取り組みの様子に合わせた今後の展望などをより丁寧にわかりやすく説明し、共通理解を図っていききたいと思います。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	サービス提供後の振り返りの機会などの中で相談に対応しています。また、保護者同席での発達支援も実施しているため、その都度、相談に対応するよう努めています。	はい:23名、どちらともいえない:3名、いいえ:0名、わからない:2名 活動終了後に報告、連絡の時間をつくっているため相談しやすいです。 定期的な面談はないけれど、育児の相談は随時もらっている。 相談に対してとても親身になって考え、助言していただいています。 面談はないが、フィードバックの時間に相談し助言いただける機会が常にある。	今後もサービス提供終了後の振り返りの機会を使って、個別的に相談に対応していきたいと思います。また、一人一人の悩みに対応できるように職員の資質向上のために内部研修を継続して実施していきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者同士の連携支援は実施していません。	はい:3名、どちらともいえない:6名、いいえ:5名、わからない:14名 今後開催予定の行事を楽しみにしています。 ないがこのままで満足している。	多くの要望があれば検討したいと思います。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応体制を整備しています。苦情があった場合は、その対応体制に沿って対応させていただきます。 また、毎年職員研修として対応等の確認や話し合いを実施しています。 事故だけでなく苦情に関するヒヤリハットの記録を残すようにしており、職員会議で事案を報告し情報を共有しつつ、今後の対応について検討しています。	はい:10名、どちらともいえない:2名、いいえ:0名、わからない:16名 苦情を言ったことがないのでわかりません。 苦情の話をきいたことはありませんが、あったとしても適切に対応してくださると思います。 苦情を出したことがないのでわかりません。 ただ、もし他の保護者からの意見や苦情がでたならば、掲示板などに貼るなどしてどのようなことが起きて、どのように対策したのか知りたいです。 苦情があったと聞いたことがないのでわかりません。	契約時に苦情対応の体制について説明しています。日頃から苦情が発生しないよう、懇切丁寧な対応を心がけますが、苦情が発生した場合には整備している体制に基づき、真摯に対応します。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもの特性に応じて、視覚的な手がかりを活用するなど、一人一人に合わせたコミュニケーション手段を検討しています。保護者向けのものでは、必要に応じて書面やメモを活用しています。	はい:28名、どちらともいえない:0名、いいえ:0名、わからない:0名 いつも丁寧に対応していただいています。 いつも丁寧に対応していただき配慮を感じる。	今後も一人一人に合わせたわかりやすい手段を検討し、情報を伝達していきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報の発行はしていません。サービス提供後に、その日の活動内容を振り返る時間を設けているため、その際に必要な情報を伝えるようにしています。 連絡体制は電話での連絡に加えてメッセージアプリも活用しています。 その他、ホームページに年末年始等の閉所日を記載しています。	はい:9名、どちらともいえない:6名、いいえ:2名、わからない:11名 会報やホームページがあるのを知りませんでした。ですので確認したことはありません。 ないがこのままで満足している。	現在の連絡体制を使って、今後も利用に関して必要な情報を発信していきたいと思います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報の取り扱いに関する同意書をもとに説明し、サインをいただいています。それを基に対応を行っています。例えば在籍しているこども園等から連絡があった場合にも、保護者に確認を取るようにしています。	はい:25名、どちらともいえない:1名、いいえ:0名、わからない:2名	相談支援事業所のモニタリングや市町からの情報の照会などは、個人情報の使用に関する同意書に基づいて対応していきます。その他、在籍園などから情報の照会があった場合には、保護者に了承を取ったうえで対応しています。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを策定し、年に1回全職員で読み合わせを行い、情報の共有を図っています。また、必要に応じて加筆、修正を行っています。 保護者への周知は、緊急時対応は契約時に説明をしています。防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは保護者へ説明を行っていませんが、防犯対策として民間警備会社との契約、窓ガラスへのミラーフィルムの貼り付け、防犯用品の設置をおこない、感染症対策として入室時の検温や手指消毒等にご協力いただいています。 その他、災害発生時の避難所までの経路や事業所の備蓄品の一部を掲示しています。	はい:24名、どちらともいえない:2名、いいえ:0名、わからない:2名	各種マニュアルを策定し、職員間で読み合わせをして情報共有をしています。 保護者への周知方法は、資料を玄関付近に掲示していますが、今後はそれがより目立つように掲示板をつくるなど、掲示方法を検討し実施します。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	災害発生に備えて、職員研修として事業所から指定避難場所までの経路を実際に歩き、危険箇所等の把握すること、災害時の対応マニュアルの読み合わせを通して、対応等の情報の共有することを行っています。利用児童に対しては、地震を中心に自然災害に関する質問をしたり、指示に応じて机の下に身を隠す訓練を実施しました。発達の状況に応じて視覚的な手掛かりを活用して実施しています。	はい:7名、どちらともいえない:3名、いいえ:0名、わからない:18名	実施はしているものの情報発信が不十分でした。関連資料を玄関付近に掲示していますが、今後はそれがより目立つように、掲示方法を検討し実施します。また、訓練時期がアンケート配布後に設定されていることも、今回「わからない」という回答が多くなった要因の一つとして考えられるため、訓練時期の変更を検討します。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	毎年、職員が虐待対応力向上研修に参加し、そこで得た情報を内部研修という形で還元しています。虐待対応力向上研修に参加する職員も固定はせず、年度ごとに交代するようにしています。また、従業者向けの虐待防止のためのチェックリストを活用し、結果を集計した後に全職員で話し合いをしています。		今後も研修参加、内部研修、チェックリストの実施とそれに基づく話し合いなどを継続して実施していきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	事業所内で身体拘束に関する話し合いを年に2回実施しています。 やむを得ず実施する場合には、組織的な決定、子どもや保護者に対して事前に十分な説明を行い了解を得ること、児童発達支援計画に記載することを遵守した上で実施します。		今後も定期的な話し合いの機会を設けていきます。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在のところ食事提供自体行っていないですが、お菓子を提供することがあるため、食物アレルギー等の有無を契約時に書面で聞き取っています。書面でアレルギーが確認された場合は、詳細事項を聞き取り対応を検討しています。		今後もアレルギーの有無の確認を徹底し、確認後は職員間で情報を共有していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットに関する事案が発生した場合は、報告書を作成して職員会議にて情報の周知をしています。加えて対応方法も検討しています。 ヒヤリハットは事故につながる可能性があったものと苦情につながる可能性があったものについて共有しています。		安心、安全にご利用いただけるように、様々な場面で気づきを多く持てるような、職場環境の構築に努めていきたいと思っています。